



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2000号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2063回例会

2015.3.12晴

司 会 古川喜仁君

ロータリーソング 「我等の生業」
指揮 栗原達治君

会長挨拶 会長 諏訪部照久君

皆さん今晚は、本日の夜間例会は豊岡三島市長来賓のもとに苗栗派遣中学生7人の歓送会です。先月の会長挨拶で台湾はなぜ親日国なのかについてのお話をしました。その次の週、森崎さんの勧めで、台湾で歴史的な大ヒットの感動巨編「カノ」を鑑賞してきました。この「カノ」は日本統治下の昭和6年、全国中学校優勝野球大会に3民族が協力して近藤監督のもと台湾代表として出場した嘉義農林学校野球部が、内地の代表を次々と下し決勝まで進出した映画です。上映開始にあたり「日本の植民地支配を美化するのか」といった声も聞かれましたが、上映されると大変な人気を呼んだだけでなく、スクリーンの字幕が「終」と同時に拍手が起り、主題歌が終わるまで誰も席を立たなかったといえます。この映画の監督はもちろん台湾人ですが、植民地支配の陰湿な場面は全く感じられないばかりか、他民族が協力して国を発展させようとしている数々の場面が印象的でした。最近の台湾では、台北の学生が国会を占拠して少し心配になりますが、今年になっての世論調査結果では(自分は台湾人との答えが60%で、中国人が3.5%)や柯文哲台北市長の発言「植民地化が長い地域ほど発展している」・「1947年2月28日の国民党統治により18千人~28千人の犠牲者が出た事件は今日まで社会の分裂をもたらし、多くの被害者家族の苦しみを生んだ」等が、やはり親日なのかと内心ほっとさせられました。派遣中学生の皆さんにおきましては、先人達との歴史的な長い関係があつての親日国ですので、更に友好な関係を作るとともに思い出もたくさん作り、無事に帰国されることを祈念しまして、会長挨拶にかえさせていただきます。

“こんにちは、ようこそ”

- ゲスト 豊岡武士三島市長
萩野夏実さん(三島市立錦田中学校)
白根雛奈さん(三島市立北中学校)
小枝利里花さん(清水町立清水中学校)
鈴木隆聖さん(清水町立南中学校)
松本蒼空さん(長泉町立北中学校)
柳本紘希さん(三島市立南中学校)
鎌野渉平さん(三島市立北上中学校)

出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	35/44	79.55%	38/44	86.36%
今回	36/43	83.72%	会員総数	48名

欠席者 石井(良)君、宇田川君、勝間田君、川名君、鈴木(正)君、登崎君、橋本君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日は、苗栗への派遣中学生歓送会です。是非とも有益な研修が出来ますよう、皆様のご協力をお願い致します。また、豊岡市長様もご出席を戴いております。
- ②伊丹さん、宇田川さん、眉山さんの推薦で入会希望者の入会調書が届きました。持ち回り理事会で承認の後、会員の皆様に入会諸否のお伺いを発送しますので、ご承知おき下さい。ご異議のある方は、発送後7日以内にお申し出下さい。
- ③地区よりレディース会員交流会の案内が届きました。5名の女性会員と会員増強の正副委員長にお届けします。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

おめでとう

結婚記念日 米山君、長田君、
矢岸君

スマイルボックス

- ◆窪田君、富山県の高岡に木材の展示会に行ってきました。商売もままあまで、おいしい魚もいただいてきました。
- ◆前田(博)君、すみません、前田博利です。早く帰ります。ごめんなさい。

苗粟交換研修中学生歓送会



ROTARY NEWS

「世界へのプレゼントになろう」と ラビンドラン会長エレクトが呼びかける

1月18日(日)、米国サンディエゴで開催した国際協議会で、R. ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト(スリランカ、コロンボ・ロータリークラブ会員)が、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長エレクトは、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、「世界へのプレゼント」となることのできる1年です。(中略)このために皆さんに与えられた時間は1年です。...この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。(中略)次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」

会長エレクトはさらに、「私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束しました。(中略)私たちは闘いを続け、必ずや勝利します」と続け、ロータリーが世界にもたらすことのできる影響の良い例がポリオ撲滅であると述べました。25年前にロータリーがポリオ撲滅の目標を掲げたとき、125カ国にポリオウィルスが常在し、毎日1,000人以上の子どものがポリオによる麻痺(まひ)障害の犠牲となっていました。現在残るポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国のみ。2014年に報告されたポリオの症例数はわずか333件だけでした。

続けて、ロータリーのもう一つの課題である会員増強についても触れました。「私たちの組織を形づくった基本に立ち返る方法を模索しなければなりません。それは、人生のあらゆる場面における高い倫理基準と、各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです」と述べ、「これらは、会員増強の足を引っばる障害と見られることがあまりに多いのが現実です。しかし、これらはロータリーの成功に欠かすことができず、なおざりにすれば、自らを危険に陥れることになるでしょう」と訴えました。

ブランディングの取り組みもロータリーの発展にとって極めて重要であり、「世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がある」と主張します。さらに、ロータリー財団への寄付を推進し、新会員を迎え入れ、現会員の積極的な参加を奨励することの重要性も強調する会長エレクト。「各課題に対する簡単な答えはありません。しかし、何とかして答えを見つけなければなりません。それを見つけるのは、ほかでもない私たちです」と訴えました。

最後に会長エレクトは「今こそ真の変化を成し遂げるとき」と述べ、次のようにしめくりました。「これからの1年は、永遠に持続する“記念碑”を築くために与えられた時間です。この記念碑は、御影石や大理石に彫られるものではなく、今後何世代にもわたって人びとの人生と心に刻まれるものです。この機会は二度と訪れるものではありません。今このときを逃さずに生かそうではありませんか」

(週報担当:瀬川幸信)